

「泌尿器腫瘍における増殖浸潤転移に関与する分子の網羅的解析」の研究についてのお知らせ

—当科において泌尿器腫瘍の治療を受けられた方で上記研究へご協力いただいた方へ—

研究機関名 徳島大学大学院医歯薬学研究部

責任研究者

徳島大学大学院医歯薬学研究部泌尿器科学・教授 金山 博臣

徳島大学先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域ゲノム制御分野 教授 片桐 豊雅

徳島大学先端酵素学研究所プロテオゲノム研究領域生体機能分野 教授 親泊 政一

徳島大学病院病理部 教授 上原 久典

「研究内容についてのお知らせ」

「泌尿器腫瘍における増殖浸潤転移に関与する分子の網羅的解析」に同意いただいた患者様の手術検体を用いて徳島学内の研究施設である徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター内、ゲノム制御分野及び生体機能分野教室と協力し同定された癌関連分子についての発現解析を行います。

1. 研究の意義と目的

泌尿器腫瘍において高発現しており悪性化に関与している分子が徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター内、ゲノム制御分野及び生体機能分野教室にて同定されており、当院の臨床検体を用いた発現解析及び予後マーカーへの利用を検討することで今後の診療に大いに役立てることができると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

徳島大学泌尿器科で泌尿器腫瘍と診断され、泌尿器腫瘍に対する治療を受けられた方で「泌尿器腫瘍における増殖浸潤転移に関与する分子の網羅的解析」にご協力いただいている方が対象となります。

2) 調査期間：

徳島大学病院医学系研究倫理審査委員会承認日～2025年3月31日の期間内の手術検体について解析をします。

3) 研究方法：

腫瘍組織で特異的に発現していることが知られている分子について調べています。具体的には、正常組織と腫瘍組織において、RNA シークエンス法・マイクロアレイ法、リアルタイム PCR 法（腫瘍組織に特異的にある分子を調べる実験方法）、次世代シークエンス法(遺伝子変異を調べる方法)、ウェスタンブロット法、組織切片を用いた in situ hybridization や免疫組織化学にて標的分子の遺伝子発現を検討しています。次にそれらの分子が診断や予後予測マーカーになりうるか血清中濃度を測定して検討します。患者カルテ情報をもとに作製した患者背景データ、腫瘍データ、病理データを用いて予後解析や相関解析を行います。またこれらの研究は徳島大学疾患プロテオゲノム研究センターと協力し癌関連分子の発現及び機能解析を行っています。

4) 調査票等：

調査はカルテ内に記載されている情報、手術検体での RNA や蛋白発現を解析するので、患者さんに直接調査へのご協力をお願いすることはありません。

5) 情報の保護：

この研究では、患者さんが特定されるような情報（氏名、住所など）は頂いておりません。被験者を被験者識別コードで特定する等、被験者のプライバシーを保護します。また研究結果をまとめて専門の学会や学術雑

誌に発表される可能性があります。患者さんのプライバシーは保護されます。

6) 問い合わせ・連絡先

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町 2-50-1 徳島大学病院泌尿器科

氏名：金山 博臣 電話：088-633-7159 ファックス：088-633-7160

7) 本研究への参加を拒否する場合：

この研究に関して不明な点がある場合や、本研究に参加されない場合には、連絡先に電話あるいは FAX でご連絡下さい。この場合も診療などの病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることは一切ありません。

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡ください

研究 泌尿器腫瘍の遺伝情報解析に関する研究の実施について

1. 本研究の目的および方法

目的： 癌では、遺伝子変異や遺伝子発現の異常を含む異常が複雑に重なっており、その発症および進展に大きな役割を果たしています。このような病態を把握するためには、数多くの遺伝子および分子を含んだ網羅的な解析が必要となります。

本研究では、泌尿器腫瘍と診断された患者の体液試料および切除・生検・剖検などにより採取された腫瘍から、DNA、RNA やタンパク質を抽出し、これらの腫瘍細胞内で、特異的に認められる遺伝子発現変化や遺伝子変異について解析を行う予定です。また、同様にタンパク質についても網羅的な解析を通じて、腫瘍に特異的な変化について明らかにしていく予定です。これらの解析から得られた情報をもとに、腫瘍発生や進展、また、それに付随する腫瘍内および生体内の変化について理解を深めることで、新たな治療法やバイオマーカーの開発につなげていくことを目的としています。

■対象： 1997年1月～2017年7月までに当院で【泌尿器腫瘍における増殖浸潤転移に関与する分子の網羅的解析】の研究へ協力をお願いした際に同意いただいたき、試料が保存されている方が対象です。

■方法： DNA および RNA を組織から抽出します。次世代シーケンサーやマイクロアレイを用いて、全ゲノム解析、全エクソン解析、全ゲノム関連解析など、網羅的なゲノム解析を行います。また、タンパク質も抽出し、質量分析法などのプロテオミクスの手法を用い網羅的な解析を行います。これらの方法を用いて目的とする標的候補遺伝子またはタンパク質を同定します。これらの解析から得られた情報をもとに、分子生物学的手法を用いて詳細な機能解析を行う予定です。これらの研究で得られた結果により将来研究内容の追加および変更が行われる可能性があります。

腫瘍や血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっていないものを含み、関係する可能性のある全ての遺伝子です。疾患によっては家族性の因子を含む場合があります、この場合はご家族が今までにかかった病気について説明をお願いすることもあります。

■期間および予定症例数： 研究全体の実施期間は承認日～2022年3月までです。予定症例数は1000例です。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

上記の対象となる方からすでに提供いただき徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野にて凍結保存されている試料（血液および手術で摘出した腫瘍の一部）を用います。これらの試料は、手術および検査の前に【泌尿器腫瘍における増殖浸潤転移に関与する分子の網羅的解析】の研究へのご協力をお願いし、同意をいただいた上で保存されていた試料です。

試料保存場所：徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野

保管責任者：徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野 教授 金山博臣

保存期間：解析終了から5年間

試料の利用範囲：すでに保存されている血液および腫瘍組織およびこれらの試料から抽出された DNA、RNA、蛋白および解析データ

3. 利用する者の範囲

徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科分野の教員および徳島大学病院 泌尿器科の教員もしくは医員

4. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたらご本人、または代理人の方が下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. 遺伝子解析結果の開示について

本研究は、多くの方々の協力を得て、腫瘍の発生や進展に影響を与える遺伝子のがかりを探るものです。この結果、なんらかのきっかけが見いだされたとしても、その意義をあきらかにし、実際に応用するには、さらに多くの研究が必要です。したがって、すぐに個人の病気の治療などに役に立つ結果が出る可能性はほとんどありませんが、希望があれば解析結果をお知らせいたします。解析結果保持期間内に申し出てください。それ以後はその結果を保管できない場合があります。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究を行う機関】 徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学分野

【研究責任者】 金山 博臣・教授

【連絡先】 徳島大学大学院医歯薬学研究部 泌尿器科学教室 教授 金山博臣

電話番号 088-633-7159